

2024年度 地球をまもる子どもたち

食べ物はどこから？



「肉類と乳製品は、外国から多くきているね」
「魚介類はモロッコやロシアからも来ているよ」
「野菜や果物は日本が多い」



「西中は学校で野菜を育てているから、CO₂を減らす貢献をしています」
右奥は顧問の佐藤先大將先生



買い物・調理・食事などでフードマイレージを減らすための自分の生活目標を掲示発表



「北歐から、日本に魚がきています」

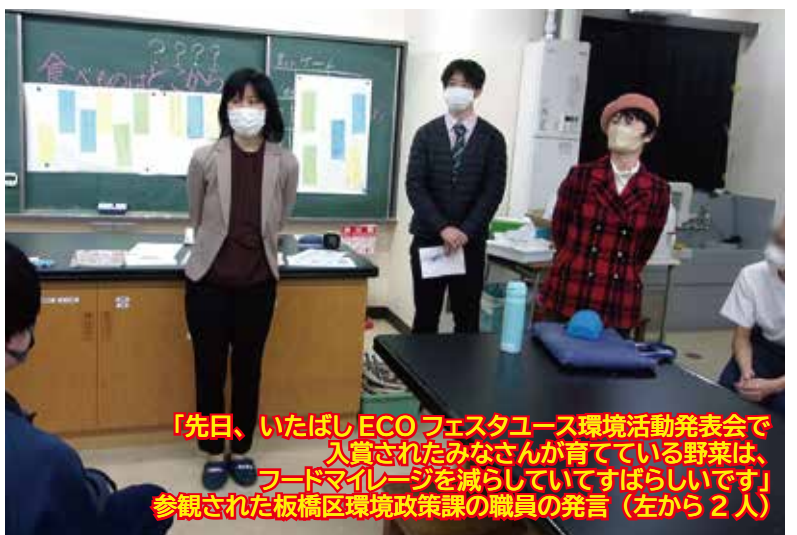
板橋区立西台中学校 環境科学部活動 2月13日

広告を使って産地マップを作り、産地による環境への影響の違いを考える買い物ゲームを通して、フードマイレージの概念を学び、地産地消の重要性について考えました。

●今回のプログラムでさらに農家になろうという意思が強くなった ●将来の夢で、自然のあるところに住むという夢があるので、さらに、現実的に考えられた ●やはり、国産の方が環境にもいいと改めて考えさせられた ●地産地消について考えさせられたから、これから気にして食べる ●フードマイレージを楽しく学ぶことができた(多数) ●日本は先進国の中で食料自給率が低いことに驚いた



チラシをきりとって…
「外国から買っている食べ物、すごく多いなあ!!!」



「先日、いたばしECOフェスタユース環境活動発表会で入賞されたみなさんが育てている野菜は、フードマイレージを減らしてすばらしいです」
参観された板橋区環境政策課の職員の発言(左から2人)

SOE NEWS

No.204

2024年

4月



センスオブアース
市民による自然共生
パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体

学校の木を決めよう

～1年間自分の木を観察してきたすごい49人～

「木はいろんなことをしてくれているのに
なんで人間がそんなに木を切るのかな」
「木の大切さがわかった」

〈学校の木〉 すいせん理由・木の観察の感想

夏みかんはオレンジ入りできれいだし、おいしそう



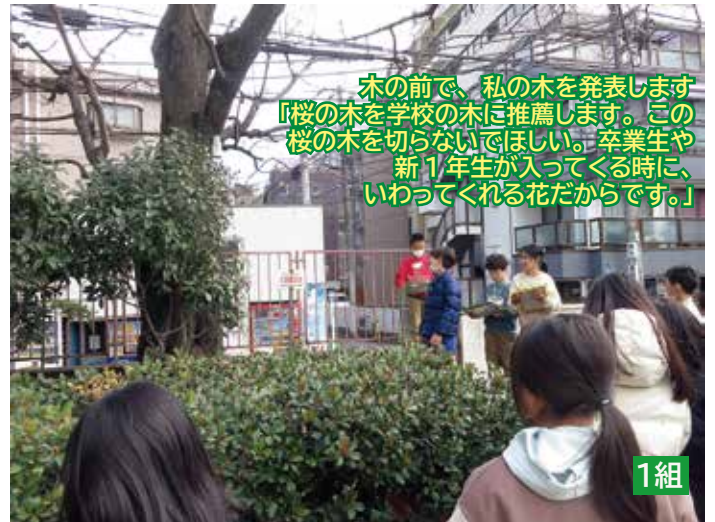
2組

さるすべりがサルでも滑るのがすごい

桜は3月にさいて、卒業する6年生が最後に桜をみられるから
冬で花や実はなかったけれど、芽ができていた植物があった
たのしかった。木がいろいろな役にたっていてすごい
今日は、学校にはどういう木があるか、どういう特徴があるか知って、とても楽しかった
木は二酸化炭素を吸って、酸素を出すから人々の暮らしを支えている重要なものだ分かったので、大切にしたい
酸素を作り、この地球には必要な存在だということがわかった
〈紙芝居を観たあとで〉木とお話ができるとびっくりしたけど、そうかもしれないと考えた
木と話してみたい

1年間観察を続けてきた、
8つの木が推薦され、
自分たちの木ともう一つの木に投票して、
今日の学校の木を決める真剣な話し合い

板橋区立板橋第六小学校 4年1組・2組49人◎3月5・7日



木の前で、私の木を発表します
『桜の木を学校の木に推薦します。この桜の木を切らないでほしい。卒業生や新1年生が入ってくる時に、いわってくれる花だからです。』

1組



2組

「6年生の卒業や
1年生が入ってくるので、
この桜の木を
切らないように
守りたいです」
(病気で切られた別の桜がある)



2組

「夏は緑が豊かで、
鳥たちがやってくる木だから、
エノキを推薦します」



1組

推薦したのは
記念樹「10月桜」(という種類)
うれしそうに咲いていた



1組

食い入るように聞いていたのは
紙芝居「森と子どもの秘密作戦」

志村第三小とうふを作ろう

板橋区立志村第三小学校
5年1組・2組70人◎2月15・20日

生呉の温度を測る難しい活動をすんなりとやり遂げた

1組



1組

時間がせまっても、なかなか固まらないのに、皆どてもしんぼう強い

志三小5年生は、SOEプログラムから大豆を育て収穫。最後にとろろ作り挑戦。すでにご飯たき・みそ汁づくりを体験済み。作業が上手で手つきもなかなかです。

ふりかえりー作る活動が難しかったけれど、おもしろかった・なかなか固まらなかったけど、味は豆腐の味がした！

1組



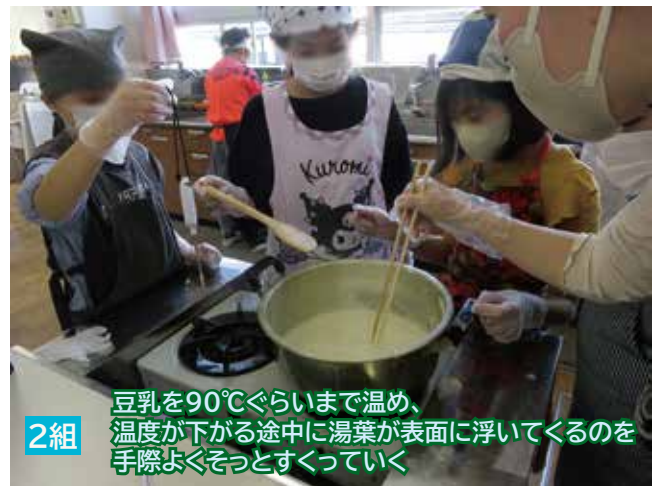
意見・感想

☑豆腐が出来上がるまでのそわそわ感がおもしろかった ☺私の班は湯葉を作って食べおいしかった ☑とうふづくりはこんなに大変。食べ残しをしない☐自分たちで作ったとうふがとても甘かった ☑大豆を外国から輸入していて、運搬で二酸化炭素を出すことを知った ☺日本の食料自給率がすごく低かったので、驚き、よくないと思った ☹ちゃんとしたこの国から来たのか見て買うようにする

2組



2時間の授業の後、固まったとうふを味噌汁と食べて、みんな元気にふりかえり



2組

豆乳を90℃ぐらいまで温め、温度が下がる途中に湯葉が表面に浮いてくるのを手際よくそっとすくっていく

2組

生呉を絞るのが楽しい、豆乳がずつと出てくる



木の顔ってどんな顔 “公園美術館”出現！

私立こぶし保育園
3歳・4歳児合同23人
3月14日◎城北公園



「キロリのおにごっこ」で楽しんだ後、紙芝居「森と子どもの秘密作戦」の読み聞かせ。その後、木の顔づくり。



3歳児と4歳児がペアになって、自分たちの力で作りました。木の顔は、ご覧の通り、自力のすごい創作です。

☹️口が2つのこわい ☺️口に、歯が見える、やさしい顔 ☹️角をつけ、目が三つの顔 ☹️眉毛が4つで角2つ ☹️3人組で3つの顔をつける ☹️目がウインクしている ☹️鼻が二つ、目が4つ ☹️ほったた1個つける ☹️角が2つ、口の下にひげ ☹️一つの目は木の穴を使った ☹️木の枝でかかっている



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp